感染症に感染したこと又は医師等から自宅待機を指示されたことにより訓練を欠席したことの申告書

（別添様式２表）

|  |  |
| --- | --- |
| 感染症に感染した者（該当する番号に○をつける。） | １　受講者本人　　２　親族（＊）（受講者との続柄：　　　）３　同居人　　　　　　　　　　注）２の親族の場合は、続柄を記載すること。 |
| 診察日 | 平成　　　年　　　　月　　　　　日 |
| 病院名 |  |
| 病院所在地（電話番号） |  |
| 医師又は担当医療機関関係者から自宅待機が必要と指示された感染症の名称・その指示内容（＊＊）（＊＊＊） | 感染症の名称：診察時における医師の指示内容：  |
| 上記感染症により訓練を欠席した期間 | 自　平成　　　年　　　　月　　　日　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　日間至　平成　　　年　　　　月　　　日 |

＊親族とは民法第725条に規定する親族、すなわち６親等以内の血族、配偶者及び３親等以内の姻族をいいます。詳しくは裏面を御確認ください。

＊＊学校保健安全法施行規則（昭和33年文部省令第18号）第18条に規定する感染症に限ります。

詳しくは裏面を御確認ください。

＊＊＊受講者本人以外の親族又は同居人が感染症に感染し、医師又は担当医療機関から受講者本人も含めて自宅待機が必要と指示された場合は、その親族又は同居人が感染した感染症の名称及び指示された内容を具体的に記載してください。

上記の記載事実に虚偽がないことを申告します。

平成　　年　　　月　　　日

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 受講者氏名※署名又は記名押印 | （　　歳） | 申請番号 |  |
| 住　所（電話番号） | （電話番号）　　－　　　－ |
| 訓練科名（番号） |  |

労働局長　殿

※　申告内容は正しく記載してください。偽りその他不正の行為によって職業訓練受講給付金を受けたり、又は受けようとしたときは、以後職業訓練受講給付金を受けることができなくなるばかりでなく、不正受給した金額の返還と更にそれに加えて一定の金額の納付を命ぜられ、また、詐欺罪として刑罰に処せられることがあります。